トップスニュース

Vol.87

2016年6月25日

加盟団体

サンフレッチェ広島　JTサンダーズ　ワクナガレオリック　広島メイプルレッズ

広島ガスバドミントン部　NTT西日本広島ソフトテニスクラブ　中国電力陸上競技部　コカ・コーラウエストレッドスパークス　広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

ターミナルビル1F

TEL:082-233-3233

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから公式Webサイトへアクセスできます。

トップスの星たち

リオで輝け

ホッケー女子代表

コカ　最多の５人

サンフレ塩谷　ＯＡ枠

サッカー男子代表

リオ五輪まで約１カ月。トップスの仲間も代表入り、高い目標を掲げリオへ乗り込む。ホッケー女子コカ・コーラから過去最多の５人。サッカー男子はＯＡ枠でまずサンフレッチェ塩谷司が決定。コカ・コーラの浅井由悠はバックアップメンバーに選

塩谷　司

ＯＡ枠で選んでいただき光栄に思います。自分にできることをピッチ内外で全力で行い勝利のために戦います

湯田　葉月

目標の世界で通用するためのスタートラインに立てました。大会中一回り成長したいと思い一戦一戦戦います

西村　綾加

自分の力を信じ思い切りプレーします。応援していただく周囲に感謝し最高の結果が残せるように頑張ります

錦織　えみ

憧れの舞台。多くの人に感謝し五輪に出ることだけに満足せずチームのために精いっぱいプレーをしてきます

三橋　亜記

日本の強み“走るホッケー”で頑張ります。自分の力を信じ、皆さんの応援を力に変えて精一杯戦ってきます

小野 真由美

目標は結果を出すこと、自身の力を出すこと。ホッケーをもっと知ってもらうため結果を残したいと思います

山陰合銀の厚い壁

広ガス　今季初の団体戦準Ｖ

中国実業団選手権

広島ガスバドミントン部

シーズン初の団体戦、中国実業団選手権は５月２８、２９日に松江市総合体育館で開かれ、広島ガスは最終第３戦で山陰合同銀行に１－４で敗れ、準優勝に終わった。

《広島ガス　戦いの跡》

▽リーグ戦

○４（複２－０、単２－１）１ACT SAIKYO

○３（複２－０、単１－２）２Cheerful 鳥取

●１（複０－２、単１－２）４山陰合同銀行

※順位　①山陰合同銀行３勝②広島ガス２勝１敗③Cheerful 鳥取１勝２敗④ACT SAIKYO３敗

ジョンソンもう契約

10億円で3年

クリス・ジョンソン投手と新たに来季から３年契約、約１０億円で合意した。シーズン中に外国人選手との契約は異例。

昨シーズンは最優秀防御率（１・８５）に輝き１４勝。今シーズンも開幕投手を務め、交流戦を終えて野村に次いで７勝５敗。

ジョンソンは「オフにメジャーで好条件を得る可能性もあったが…。球団と広島の街に優勝をもたらす手助けをする」とコメントした。

交流戦

Carp 広島東洋カープ

コイ７年ぶり３位

11勝６敗１分 0.647

セ・パ交流戦が終わり、広島は１１勝６敗１分、過去最高勝率でセ最上位、７年ぶりの勝ち越しで３位となった。

先発陣の力投と鈴木ら若手の打撃陣の奮起がかみ合い、終盤６連勝で史上最高勝率６割４分７厘をマークした。

サヨナラ、サヨナラ、決勝　3試合連続アーチ

旬の男 鈴木誠也

お立ち台でガッツポーズ。「最高」とファンに応える鈴木

日本生命賞を受賞

交流戦で鈴木誠也が大ブレーク、活躍が目立った選手に贈られる日本生命賞を受賞した。締めくくりのオリックス戦でサヨナラ、サヨナラ、決勝の３試合連続アーチ。お立ち台ではお決まりの「最高です」を連発した。打率３割８分１厘は３位タイ、４本塁打、１３打点とともにチームトップの大活躍。２５年ぶりリーグ優勝へ存在感は高まるばかりだ。

水澤・長江と丸中・原でワン、ツー

中国選手権

NTT西日本⇒

NTT西日本広ソフトテニスク

水澤　悠太

長江　光一

丸中　大明

原　侑輝

ソフトテニスの中国地区選手権は５月２２日、松江総合運動公園松江市営庭球場で行われた。

一般男子の部の決勝はＮＴＴ西日本広島同士、水澤・長江とルーキー丸中・原の対戦となり、４－０で水澤・長江に軍配が上がった。

鬼頭（山口教員ク）と組んだ岩崎はベスト８、村上・林と内海（広島ク）とペアの船水はともにベスト１６止まりだった。

今秋のアジア選手権に水澤・長江・船水　選出

１１月に千葉で行われるアジア選手権男子の日本代表にＮＴＴ西日本広島から水澤悠太、長江光一、ルーキー船水雄太の３人が選出された。

また男子のコーチは先輩の中堀成生氏が務める。

５０００㍍１位でゴールする山崎良平

中国電力陸上競技部

中国電力陸上競技部

雨中の５０００

中電　積極レース

県実業団

山崎、終盤飛び出し∨

県実業団陸上選手権は６月４日、庄原市上野総合公園陸上競技場で開かれ、男子の５０００㍍は山崎良平が制した。あいにくの雨の中のレースとなったが、３組に出場した中電勢は、積極的なレース運びを見せ４０００㍍から集団を抜け出した山崎が逃げ切り、３位に竹内一輝、４位に新人の渡邉心が入った。

１５００㍍は渡辺が出場、序盤から飛び出し、２組２位でゴール、総合では７位となった。

▽男子５０００㍍　タイムレース
①山崎　良平　１４分１１秒６５
③竹内　一輝　１４分１４秒８６
④渡邉　心　１４分１７秒３７
⑥石川　卓哉　１４分１７秒８８
⑦清谷　匠　１４分１８秒４４
⑪藤森　憲秀　１４分２５秒３９
⑫藤川　拓也　１４分２７秒２１
㉓兼実　省伍　１４分４３秒６３
㊴池淵　智紀　１５分１８秒６５
▽男子１５００㍍　タイムレース
⑦渡辺　心　４分０４秒７７

１５００㍍ 渡邉は７位

サンフレ　第１Ｓ終了

２連勝で４位

サンフレッチェ広島

ホーム最終戦で浦和を破りサポーターに応えるサンフレの選手（６月18日・Ｅスタ）

《サンフレッチェ第１ステージ　全成績》

節	スコア	相手	得点者
①●０	（０－０、０－１）	１川　崎	
②△１	（１－１、０－０）	１名古屋	佐藤
③△２	（０－０、２－２）	２湘　南	ウタカ、Ｏ・Ｇ
④○５	（２－０、３－１）	１大　宮	ウタカ、浅野、青山柏、柴崎
⑤○３	（０－０、３－０）	０仙　台	ウタカ２、茶島
⑥●１	（１－１、０－３）	４鹿　島	ウタカ
⑦○１	（０－０、１－０）	０新　潟	ミキッチ
⑧○２	（１－０、１－１）	１横浜Ｍ	ウタカ２
⑨●０	（０－１、０－０）	１磐　田	
⑪○３	（２－０、１－０）	０鳥　栖	茶島、ウタカ２
⑫△０	（０－０、０－０）	０　柏	
⑬●１	（０－１、１－２）	３Ｇ大阪	ウタカ
⑭○４	（３－０、１－０）	０福　岡	ウタカ、宮吉２、柴崎
⑮△１	（１－１、０－０）	１神　戸	ウタカ
⑩△１	（０－０、１－１）	１ＦＣ東京	浅野
⑯○４	（１－２、３－０）	２浦　和	柴崎、塩谷２、佐藤
⑰○３	（１－０、２－０）	０甲　府	柴崎、塩谷、ウタカ

※順位　④８勝５分４敗　勝ち点２９
得点３２　失点１８　差１４

Ｊ１リーグは６月25日で第１ステージが終わり、サンフレッチェは８勝５分け４敗、勝ち点29で４位となった。

移籍のウタカが13得点を挙げ得点ランク１位の活躍ぶり。総得点は32で川崎に次いで２位。終盤はケガ人続出もあって追いつかれる場面もあったが、浦和、甲府に快勝、第２ステージにつないだ。

■順　位■　第１Ｓ終了

	試合	勝点	勝	分	敗	得点	失点	差
①鹿　島	１７	３９	１２	３	２	２９	１０	１９
②川　崎	１７	３８	１１	５	１	３３	１５	１８
③浦　和	１７	３３	１０	３	４	２６	１６	１０
④広　島	１７	２９	８	５	４	３２	１８	１４
⑤大　宮	１７	２６	７	５	５	１７	１８	－１
⑥Ｇ大阪	１７	２４	７	３	７	２２	２０	２
⑦　柏	１７	２４	６	６	５	２０	２１	－１
⑧磐　田	１７	２３	６	５	６	２１	２３	－２
⑨Ｆ東京	１７	２３	６	５	６	１６	１８	－２
⑩仙　台	１７	２３	７	２	８	２０	２５	－５
⑪横浜Ｍ	１７	２２	６	４	７	２１	１９	２
⑫神　戸	１７	２０	５	５	７	２３	２５	－２
⑬新　潟	１７	１８	４	６	７	１９	２５	－６
⑭名古屋	１７	１７	４	５	８	２４	２９	－５
⑮鳥　栖	１７	１７	４	５	８	１０	１５	－５
⑯湘　南	１７	１６	４	４	９	１８	２７	－９
⑰甲　府	１７	１５	３	６	８	１８	３１	－１３
⑱福　岡	１７	１１	２	５	１０	１１	２５	－１４

第２Ｓは２日の磐田戦で開幕

第２ステージは休む間もなく、７月２日ホームに磐田を迎え開幕する。若手の底上げもあって戦力はアップしているものの、リオ五輪代表の塩谷のほか、浅野の代表入りが有力視されるだけに、ハンディが気になるところでもある。総力を挙げた戦いで第２ステージ制覇、年間１位に挑戦する。

浅野選出

五輪代表発表前
最後の国際親善

リオ五輪に出場するＵ-23日本代表発表前の最後の国際親善、南アフリカ代表戦メンバーに浅野が選出された。

フル代表で初ゴールを決めた勢いで、今回も得点を挙げて、７月１日に予定される代表発表につなぎたい。

青山も負傷　６人目

第１ステージ終盤になって故障者が続出している。６月18日の浦和戦では主将の青山が故障で途中交代。右ハムストリングス筋損傷で全治４週間と診断された。

これで水本、佐々木、ミキッチ、川崎、森崎浩と合わせ６人が戦列を離れることになった。

左から大田、錦織、金藤、浅井

束の間のリラックス？

コカ・コーラウエスト レッドスパークス

コカ大田ら アンジュ声援

女子サッカー観戦

ホッケー女子の日本リーグで開幕４連勝と好スタートを切ったコカ・コーラの大田、錦織、金藤、浅井の４人が５月２９日コカ・コーラ広島スタジアムでのサッカー女子なでしこリーグ２部、アンジュヴィオレとハリマの試合を観戦した。

ホッケーリーグはリオ五輪に向け代表強化のために中断しており、友人をともに「アンジュ頑張れ」と声援を送った。

残念ながら白星はならなかったが、つかの間リラックスした様子。９月のリーグ再開に向けて練習を重ね、目指す４冠へチャレンジする。

ＪＴバレー　さらなる高みめざし…

深津　旭弘 新主将

１９８７年７月２３日生　愛知県出身

２０１０年から７シーズン目、２０１４年のプレミアリーグを初優勝に導きベスト６に輝いた司令塔。ジャンプ力を生かした高い位置でのトスアップ、ブロックが武器。優勝した５月の黒鷲旗でもベスト６受賞。越川前主将の志を受け継ぐ。

JTサンダーズ

菅　直哉 新コーチ

１９８５年５月１７日生　長崎県出身

２００９年にＮＥＣから移籍、７シーズンにわたって巧みなハンドリングを武器にセッターとして活躍。黒鷲旗で現役を退き、６月からコーチに就任した。また、**市毛賢二氏**がストレングス＆コンディショニングコーチ（Ｓ＆Ｃ）を務めることになった。

湧永2選手 日韓定期戦で代表入り

勝負は惜敗

ＧＫ志水復帰 独り成田も

フル代表が戦うハンドボールの日韓定期戦が２年ぶりに開かれ、湧永製薬からＧＫ志水孝行が復帰、ドイツ留学から帰った常連の成田幸平も名前を連ねた。６月２５日にソウルで行われ、日本はあと一歩及ばなかった。再登板のオルテガ監督が指揮を執った。

表彰選考やプレゼンテーター

こちら湧永も裏方で盛り上げた

中学生が民泊しながらハンドボールを楽しむ安芸高田市カップが６月１１、１２日に湧永満之記念体育館などで開かれた。湧永製薬の選手たちは日ごろの声援のお返しを兼ね表彰選手の選考やプレゼンテーター、さらにはレフェリーを務めるなど、ひろしま国体開催を記念して始まり２０回目を迎えた大会を裏方として盛り上げた。

脇役で恩返し

メイプルのスポンサーや協賛企業

会社対抗ハンド

スポンサーや協賛企業の日ごろのサポートに感謝するメイプルレッズ会社対抗ハンドボール大会が、５月２８日、広島市中区スポーツセンターで開かれた。

今回で７回目を迎えすっかりおなじみとなった大会。会社の“名誉とプライドをかけた熱戦”が会場で熱く燃えさかった。

日ごろは主役の選手たちは、今回はレフェリーを努めるなど脇役に回って盛り上げ役に徹した。おかげか？コートでは笑いあり、涙あり、びっくりプレーあり…。

参加した８チームの皆さんはすっかりハンドボールを満喫した様子。ハッスルプレーに感動した選手たち、今度は試合で恩返しを誓いあった。

世界学生にＧＫ板野、ルーキー堀川

世界学生選手権は６月２６日からスペインで開かれているが、日本学生代表のメンバーに２年目のＧＫ板野陽とルーキー堀川真奈（ともに大阪教大出）の２人が選出された。

日本は予選リーグで地元スペイン、ルーマニア、インドと同じグループで、１回戦総当たりで決勝トーナメント進出を狙う。

各チームの１推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆

広島メイプルレッズ
高山　智恵選手
女子ハンドボール

生年月日	1991年３月11日
身　長	167cm
血液型	Ａ型
出身地	大阪府

↓選手からのコメント

今シーズンは個人技を高めて、メイプルレッズらしくチーム力を生かしたゲームをお見せできるように頑張ります

《ヒロシマ国際　日程》

２２日	女子	江　蘇　省vsＳＫオーフス	１６；００
	女子	日本代表vsメイプルレッズ	１７；４０
	男子	江　蘇　省vs湧永製薬	１９；２０
２３日	女子	ＳＫオーフスvsメイプルレッズ	１３；００
	男子	日本代表vs湧永製薬	１５；００
	女子	江　蘇　省vs日本代表	１７；００
２４日	女子	江　蘇　省vsメイプルレッズ	１２；００
	女子	ＳＫオーフスvs日本代表	１４；００
	男子	江　蘇　省vs日本代表	１６；００

22日からヒロシマ国際ハンド大会

湧永・メイプルレッズ参戦

ハンドボールのヒロシマ国際大会が７月２２日から３日間、マエダハウジング東区スポーツセンターで開かれ、湧永製薬とメイプルレッズが参加、日本代表などと対戦する。シーズン開幕を控え貴重な実戦テストとなる。また、新たに就任した男女の日本代表監督のさい配も注目される。

ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。
ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

写真は１部を除き各クラブ提供